

第 1 号議案 2003 年度庶務報告に関する件

1. 2003 年度会員動向 (2004 年 3 月 31 日現在)

会員数：9,378 名 (普通会員 8,763 名、名誉会員 122 名、賛助会員 46 名、支部 B 会員 149 名)

新入会員 494 名 (支部 B 会員 5 名含む)

退会会員 256 名 (支部 B 会員 28 名含む)

物故会員 12 名

前年度比 410 名増

物故会員一覧

名誉会員	伊澤 寛(兵庫県)	小坂二度見(広島県)	堀 孝郎(埼玉県)
	本多 夏生(大分県)	Bernard Fink (米国)	Peter Safar(米国)
普通会員	新 和夫(群馬県)	江面 茂(東京都)	加地 省三(愛媛県)
	野本麻由美(愛媛県)	深澤良一郎(静岡県)	吉田 陽一(熊本県)

2. 2003 年度社員等一覧

理事長：花 岡 一 雄

常務理事：小 川 龍 島 田 康 弘 野見山 延 釘 宮 豊 城

理 事：新 井 達 潤 稲 田 英 一 大 村 昭 人 尾 原 秀 史

熊 澤 光 生 畔 政 和 古 賀 義 久 崎 尾 秀 彰

高 崎 眞 弓 武 田 純 三 多 田 恵 一 西 川 俊 昭

野 坂 修 一 福 田 悟 弓 削 孟 文

監 事：高 橋 成 輔 並 木 昭 義

【代議員：276 名】

相 川 清	赤 澤 訓	赤 塚 正 文	赤 間 保 之	浅 田 章
足 立 健 彦	阿 部 文 明	安 部 睦 美	天 笠 澄 夫	天 木 嘉 清
天 野 勝	荒 井 俊 之	新 崎 康 彦	有 田 英 子	有 村 敏 明
安 藤 富 男	飯 田 宏 樹	石 井 脩 夫	石 原 弘 規	石 部 裕 一
一 瀬 広 道	一 色 淳	伊 藤 樹 史	伊 東 範 行	稲 垣 喜 三
井 上 哲 夫	入 田 和 男	岩 井 浩	巖 康 秀	岩 坂 日 出 男
岩 崎 寛	上 田 直 行	上 原 康 一	牛 島 一 男	磨 田 裕
内 橋 慶 隆	大 江 容 子	大 下 修 造	太 田 又 夫	大 竹 一 栄
大 槻 学	大 橋 勉	大 村 繁 夫	岡 崎 敦	岡 崎 薫
尾 方 信 也	岡 本 浩 嗣	小 川 幸 志	小 川 節 郎	尾 崎 眞
小 田 利 通	小 田 切 徹 太 郎	落 合 亮 一	小 野 田 昇	表 圭 一
遠 田 正 治	垣 内 英 樹	笠 井 裕 子	笠 羽 敏 治	風 間 富 一 栄
粕 谷 由 子	粕 野 繁 雄	勝 屋 弘 忠	加 藤 滉	加 藤 清 司
加 藤 正 人	金 谷 憲 明	加 納 龍 彦	辛 島 大 士	川 口 稜 示
川 崎 孝 一	川 崎 潤	河 手 良 一	川 名 信	河 西 稔
川 真 田 美 和 子	河 本 昌 志	管 桂 一	上 村 裕 一	菊 田 好 則
菊 地 博 達	岸 義 彦	北 口 勝 康	北 島 敏 光	北 畑 洋 一
北 村 征 治	木 下 博 之	木 村 智 政	清 成 宜 人	工 藤 一 大
国 元 文 生	栗 原 雄 二 郎	黒 河 内 信 夫	小 板 橋 俊 哉	黄 藤 卓 次
河 野 克 彬	神 山 有 史	小 坂 誠	児 玉 謙 次	五 藤 恵 次

後藤	俱	子	後	藤	文	夫	小	林	俊	哉	小	林	尚	日	出	小	松	徹
金井	哲	正	佐	井	義	和	齋	藤	篤	繁	齋	藤	洋	司	司	佐	伯	茂
坂多	竹	博	坂	部	武	史	坂	本	裕	裕	櫻	木	忠	和	和	櫻	谷	彦
佐藤	根	良	佐	谷	厚	誠	佐	藤	仁	仁	佐	藤	正	光	光	佐	藤	裕
重松	松	彦	左	利	浩	生	塩	川	啓	武	塩	谷	正	弘	明	重	松	生
志茂	田	之	柴	田	順	治	嶋	石	武	人	島	田	宗	明	郎	島	田	一
新宮	利	治	下	中	耕	之	白	原	一	博	白	神	豪	太	啓	秦	木	二
鈴木	芳	興	須	貝	甲	子	須	加	臣	造	杉	浦	良	啓	信	鈴	尾	正
関口	誠	保	澄	川	正	二	住	原	和	幸	角	田	俊	文	治	瀬	中	功
高岡	力	弘	瀨	戸	義	蔵	世	田	健	郎	仙	石	和	明	雄	妙	松	二
田上	源	司	高	井	恒	人	高	橋	仁	士	高	畑	明	経	一	高	田	誠
太城	重	良	滝	羅	義	隆	田	口	武	志	武	中	秀	秀	正	武	中	郎
津中	子	秀	多	田	英	文	館	藤	泰	博	寺	上	秀	訓	則	中	東	公
十川	秀	男	田	肥	修	昭	谷	井	輝	明	中	崎	幹	夫	訓	中	中	規
長谷	子	巧	土	木	和	彦	坪	丸	弘	一	中	島	不	二	雄	中	西	人
長野	卓	之	中	新	拓	成	外	澤	信	功	西	村	祐	誠	二	西	根	宣
野口	隆	洋	新	西	能	司	中	村	謹	一	畑	田	義	雄	誠	八	本	夫
尾場	博	保	橋	本	匡	悟	中	山	德	吾	比	田	好	文	夫	肥	田	誠
福田	和	彦	早	野	良	生	畑	岡	公	丞	広	瀬	久	美	子	福	川	誠
古堀	純	仁	平	留	武	朗	播	岡	史	博	藤	田	蓮	子	史	堀	崎	亮
増松	富	洋	福	間	須	美	広	川	信	豊	細	田	浩	俊	俊	真	布	清
真弓	享	一	外	田	豊	彦	藤	川	志	也	前	又	康	彦	一	堀	堀	節
南村	敏	明	本	本	延	幸	細	田	一	男	増	眞	治	幸	久	真	真	明
森田	雅	洋	丸	川	征	四	前	山	東	洋	松	丸	洋	久	行	三	村	信
安本	和	正	宮	尾	秀	隆	宮	崎	仁	志	丸	宮	直	克	誠	森	柳	也
結城	禎	一	村	山	隆	樹	米	本	裕	二	盛	盛	修	敏	身	山	山	重
吉嶺	孝	和	森	本	冬	章	森	田	芳	嗣	森	山	敏	光	光	吉	本	潔
渡辺	裕	生	横	崎	光	幸	山	山	正	尚	山	吉	敏	光	光	渡	川	寬
			依	田	美	吾	横	邊	誠	治	渡	渡	敏	光	光	依	邊	健
					建		渡											輔
																		昭

【会長1名・副会長2名】
 会長：小川 龍
 副会長：島田 康弘
 副会長：新井 達潤

3. 2003年度委員会および専門部会一覧
 <常置委員会>
 【総務委員会】

委員長：島田康弘
副委員長：武田純三 野見山 延
委員：大江容子 北島敏光 平川方久 古家 仁

〔将来構想検討専門部会〕

部会長：武田純三
副部会長：古家 仁
部会員：小田利通 柳下芳寛 安田信彦

〔社会保険検討専門部会〕

部会長：野見山 延
副部会長：柳下芳寛
部会員：岩瀬良範 羽尻裕美 細川豊史 横田美幸

【財務委員会】

委員長：釘宮豊城
副委員長：崎尾秀彰
委員：巖 康秀 一色 淳

【学術委員会】

委員長：小川 龍
副委員長：野坂修一
委員：太城力良 豊岡秀訓 西川俊昭 畑埜義雄
福田悟 真下 節

〔機関誌専門部会〕

部会長：豊岡秀訓
部会員：石部裕一 澄川耕二 西野 卓 外 須美夫
村川雅洋

〔Journal of Anesthesia Editorial Board〕

Editor-in-Chief：豊岡秀訓
Editors：石部裕一 小川 龍 加納龍彦 新宮 興
澄川耕二 照井克生 西川俊昭 西野 卓
古家 仁 外 須美夫 村川雅洋

〔学術集会企画専門部会〕

部会長：真下 節
部会員：小川 龍 新井達潤 尾崎 眞 鈴木利保
山本 健

◆ 学術集会電子抄録開発ワーキンググループ

グループ長：長田 理
メンバー：内田 整 越川正嗣 木村智政 小林 信
惣谷昌夫 萩平 哲

【教育委員会】

委員長：尾原秀史
副委員長：稲田英一 上村裕一
委員：尾方信也 後藤文夫 新宮 興 福田和彦
外 須美夫 榎田浩史

[認定審査委員会]

委員長：尾原 秀史

◆ 第1部会（専門医認定）

部会長：稲田 英一

副部会長：上村 裕一 榎田 浩史

部会員：巖 康秀 岩崎 寛 齋藤 繁 瀬尾 憲正
津崎 晃一 土田 英昭 福田 和彦 外 須美夫
村川 雅洋 安本 和正 結城 禎一

◆ 第1部会（当日試験官）

部会員：浅田 章 大江 容子 大下 修造 加藤 正人
河本 昌志 北口 勝康 北島 敏光 小松 徹
齋藤 洋司 坂本 篤裕 多田 恵一 津田 喬子
中村 久美 比嘉 和夫 前川 信博 真下 節
南 敏明 村川 和重 森田 潔 山崎 光章
山本 健 渡辺 廣昭

◆ 第2部会（指導医認定）

部会長：榎田 浩史

部会員：巖 康秀 風間 富栄 津田 喬子 真下 節

◆ 第3部会（認定医、認定施設認定）

部会長：外 須美夫

部会員：小松 徹 村川 和重 結城 禎一

【倫理委員会】

委員長：高崎 眞弓

副委員長：熊澤 光生

委員：北村 征治 津田 喬子 土肥 修司 吉川 修身

【安全委員会】

委員長：大村 昭人

副委員長：畔 政和 古賀 義久

委員：入田 和男 河本 昌志 谷藤 泰正 安本 和正

[手術室安全対策専門部会]

部会長：瀬尾 憲正

副部会長：森田 潔

部会員：巖 康秀 岡本 浩嗣

オブザーバー：相馬 孝博

[麻酔関連偶発症例調査専門部会]

部会長：入田 和男

副部会長：津崎 晃一

部会員：小林 佳郎 讃岐 美智義 澤 智博 榎田 浩史

[麻酔関連機器 JIS 規格専門部会]

部会長：安本 和正

副部会長：宮尾 秀樹

部会員：北島 敏光 西野 卓 外 須美夫

[医療事故専門部会]

部会長：河本昌志

副部会長：唐澤富士夫

部会員：野坂修一 野崎洋文 横田美幸

[薬剤対策専門部会（医薬品等適正使用評価委員会）]

部会長：谷藤泰正

副部会長：前川信博

部会員：古賀義久 比嘉和夫 福田悟 村川雅洋

※医薬品等適性使用評価委員会のみ

：尾原秀史 坂部武史 与五沢利夫

◆ 診療科別安全対策ワーキンググループ

部会員：大村昭人 唐澤富士夫 畔政和 古賀義久

武田純三 津崎晃一

◆ 肺血栓塞栓症ガイドライン作成ワーキンググループ

グループ長：古家仁

グループ員：巖康秀 伊藤誠 黒岩政之 佐々木順司

謝宗安 森田潔

◆ 急速輸血装置事故対策 TASKFORCE

グループ長：大村昭人

グループ員：巖康秀 岡本浩嗣 瀬尾憲正 唐澤富士夫

河本昌志 野坂修一 野崎洋文 横田美幸

オブザーバー：相馬孝博

【交流委員会】

委員長：新井達潤

副委員長：多田恵一

委員：浅田章 佐藤重仁 澄川耕二 田勢長一郎

中川隆

[国際交流専門部会]

部会長：佐藤重仁

副部会長：菅井直介

部会員：浅田章 尾崎真 澄川耕二 溝部俊樹

[救急医療対策専門部会]

部会長：多田恵一

副部会長：田勢長一郎

部会員：石原晋 今泉均 漢那朝雄 境田康二

田中行夫 谷口淳朗 中川隆 西山謹吾

行岡秀和

【広報委員会】

委員長：弓削孟文

副委員長：竹田清

委員：岩崎寛 小川節郎 菊地博達 田上恵

宮尾秀樹

[公益事業推進専門部会]

部会長：岩崎 寛
副部会長：細川 豊史
部会員：坂本 篤裕 白石 義人 野口 隆之 藤瀬 久美子
水本 一弘

〔ホームページ管理専門部会〕

部会長：菊地 博達
副部会長：落合 亮一
部会員：長田 理 西野 卓 肥川 義雄

〔ニュースレター編集専門部会〕

部会長：宮尾 秀樹
副部会長：津田 喬子
部会員：小川 節郎 落合 亮一

◆ 麻酔啓発用小冊子作成ワーキンググループ

グループ長：菊地 博達
グループ員：稲田 英一 落合 亮一 松本 眞希

◆ 学生招待企画ワーキンググループ

グループ長：田上 恵
グループ員：小川 節郎 竹田 清

< 特別委員会 >

【50周年記念事業運営委員会】

委員長：小川 龍
委員：小川 節郎 嶋田 均 平川 方久 福内 明子
松本 明知

【50周年記念史編集委員会】

委員長：松木 明知
委員：小田切 徹太郎 釘宮 豊城 津田 喬子 寺崎 秀則
畑 埜 義雄 平川 方久 藤田 俊夫 渡辺 廣昭

【選挙管理委員会】

委員長：平川 方久
委員：赤井 良太 市原 靖子 菊地 利浩

【2001年度麻酔指導医試験特別調査委員会】

委員長：島田 康宏
委員：稲田 英一 野見山 延
オブザーバー：酒井 紀 鈴木 利廣

4. 2003年度関連諸団体委員等一覧

【日本学術会議】

会員：松木 明知

【日本医師会】

疑義解釈委員会：与五沢 利夫

【日本医学会】

評議員：花岡 一雄
連絡委員：釘 宮 豊 城
医学用語連絡委員：劔 物 修（麻醉用語専門部会長）
代委員：太 城 力 良

【厚生労働省医道審議会標榜医審査会】

審査委員
北海道・東北：西 川 俊 昭
関東・甲信越：後 藤 文 夫
東海・北陸：土 肥 修 司
関 西：野 坂 修 一
中国・四国：坂 部 武 史
九 州：澄 川 耕 二
国立病院：宮 崎 久 義
総 括：尾 原 秀 史

【有限責任中間法人日本専門医認定制機構】

委 員：尾 原 秀 史（教育委員長）

【大学評価・学位授与機構】

評価委員：土 肥 修 司 澄 川 耕 二

【日本外科学会】

評議員：尾 原 秀 史 高 橋 成 輔 花 岡 一 雄

【外科系医学会社会保険委員会連合】

処置小委員会委員：岩 瀬 良 憲
手術小委員会委員・検査小委員会委員：横 田 美 幸
実務小委員会委員：野見山 延

【外科系関連学会協議会】

委 員：小 川 龍

【日本救急医療財団】

理 事：花 岡 一 雄
心肺蘇生法委員会委員：野見山 延

【日本蘇生協議会】

委 員：多 田 恵 一

【3学会合同呼吸療法士認定委員会】

派遣委員：沼 田 克 雄 大 村 昭 人 安 本 和 正 妙 中 信 之
落 合 亮 一

【臨床工学関連問題検討委員会】

委員：釘 宮 豊 城

代委員：小 川 龍

【日本歯科麻酔学会】

監 事：武 田 純 三

【World Federation of Societies of Anesthesiologists (WFSA)】

Executive Committee：花 岡 一 雄

Committee on Obstetrics：照 井 克 生

Committee on Paediatric Anesthesia：尾 原 秀 史 宮 坂 勝 之

Committee on Resuscitation, Trauma & Intensive Care Medicine：坂 部 武 史

Technology, Information & Equipment Committee：福 島 和 昭 釘 宮 豊 城

【Asian and Australasian Regional Section (AARS)】

Treasurer：花 岡 一 雄

5. 2003 年度総会報告

2003 年 5 月 28 日（水）、パシフィコ横浜にて第 2 回通常総会を開催し、2002 年度庶務報告、事業報告、会計報告、定款施行細則変更、名誉会員推薦、2003 年度社員等選任、事業計画、収支予算について諮り、満場一致で可決された。

6. 理事会および常務理事会報告

1) 理事会

- ・第 1 回：2003 年 5 月 27 日（火）

主な審議事項：第 2 回通常総会議題確認 2002 年度事業および決算報告 前年度理事会からの引継

- ・第 2 回：2003 年 8 月 22 日（金）

主な審議事項：2003 年度上半期報告および下半期計画 経費削減 中期・長期計画 WCA 誘致

- ・第 3 回：2003 年 11 月 30 日（日）

主な審議事項：2002 年度上半期決算報告 WCA 誘致 文部科学省実地審査報告

- ・第 4 回：2004 年 3 月 12 日（金）

主な審議事項：2003 年度事業報告 2004 年度事業計画および予算 名誉会員 学会賞 会員処分
中期・長期計画

<臨時理事会>

- ・第 1 回：2003 年 7 月 23 日（水）

主な審議事項：専門医試験問題漏洩について

- ・第 2 回：2004 年 2 月 1 日（日）

主な審議事項：WCA2012 誘致決定 2004 年度第 1 時予算案編成 会員処分 救急救命士挿管実習

2) 常務理事会

毎月開催し、庶務連絡ならびに事業報告、理事会審議事項事前協議ならびに調査等を逐次行った。その他、緊急を要する事項について審議，執行した。

- ・第 1 回：2003 年 4 月 18 日（金）

- ・第 2 回：2003 年 5 月 27 日（火）

- ・第3回：2003年6月20日（金）
- ・第4回：2003年7月18日（金）
- ・第5回：2003年8月22日（金）（委員長出席による拡大会議）
- ・第6回：2003年9月18日（木）
- ・第7回：2003年10月28日（火）
- ・第8回：2003年11月30日（日）
- ・第9回：2003年12月18日（木）
- ・第10回：2004年1月30日（金）
- ・第11回：2004年2月22日（木）（委員長出席による拡大会議）
- ・第12回：2004年3月12日（金）

<臨時常務理事会>

- ・第1回：2003年5月16日（金）
- ・第2回：2003年6月11日（水）
- ・第3回：2003年6月12日（木）午前
- ・第4回：2003年6月12日（木）午後
- ・第5回：2003年7月18日（金）
- ・第6回：2003年8月22日（金）
- ・第7回：2003年10月1日（金）

7. 文部科学省指導報告

- 1) 実施日：2003年11月5日（水） 14:00~17:30
- 2) 実施場所：社団法人日本麻酔科学会事務局5階会議室
- 3) 審査員：文部科学省研究振興局学術研究助成課研究成果公開促進係
学術団体専門官 後藤 博昭 係長 新地 博
事務局：事務長 内川 暢子 他3名
- 4) 指導点：以下の点について指導・改善が求められた

<法人の業務運営状況>

- ・ 理事長及び常務理事の選任は、形式的にでも総会で承認された後に行うこと
- ・ 「理事長および常務理事を互選で選任する」と定款に定められているので、互選の形式を申し合わせておくべき
- ・ 現在公印管理に関する規定を制定すること
- ・ 情報公開に関する規定を制定すること

<事業の内容及び実施状況>

- ・ 事業担当者の給与は事業費に計上すること
- ・ 事業費は総支出の80%が望ましい
- ・ 支部の事業状況及び会計状況を詳細に把握し、法人に包括すること
- ・ 支部におけるいわゆる「内部留保」の額を減らし、積極的に事業展開すること

<会計処理・収支及び資産の状況、予算及び決算の状況>

- ・ 人件費を正確に把握できるよう、源泉徴収票は何らかの形で必ず事務局に保管しておくこと
- ・ 支部事務局にも必ず職員の源泉徴収票と給与支払明細を保管しておくこと
- ・ 法人の事業規模を把握するために、学術集会事業収支および支部会計は本会計に包括もしくは総括表の作成で連結決算にし、報告・登記を行うこと
- ・ 学術集会会計は第〇回決算ではなく、学術集会事業費として毎年度決算をすること
- ・ 管理費は総支出額の30%未満の範囲を保つこと
- ・ 人件費は管理費の50%未満の範囲を保つこと

- ・ 予算と決算の差異が 14%であったが、5%未満が適切で、改善の必要があること
- ・ 正味財産の増減程度は 14.8%減であったが、5%未満が適切で、改善の必要があること
- ・ 現在基金に関する内規を制定すること
- ・ 財産目録、貸借対照表において普通預金口座は全て流動資産、定期預金口座は特定目的資産とし、正味財産で運用益として計算すること
- ・ 財産目録の未収入金の会費に、年度のみでなく人数も明記すること

<今後の予定と対策>

政府は、2006年(平成18年)3月までに法改正も含めて公益法人に対する抜本的改革を完了する予定である。従って2006年度3月までの活動実績を基に評価し、同年4月には公益法人に対する新制度を施行する。この改革は、従来は各省庁で所轄していた法人が、金融庁主導で、主に財政面から事業状況を審査し、税制優遇措置を決定することが主眼である。また、法改正後の全公益法人の所轄は各地域の税務署に所属する見通しである。担当官の指導によれば、会ないの十分なコンセンサスを得た上で、指導点を可及的速やかに是正し、適正な運用の実績を積み重ねることが重要とのことである。

8. 会計監査会

- ・ 2002年度決算監査：2003年4月28日(月)
- ・ 上半期決算監査：2003年10月27日(月)

9. 選挙報告

本年度は、2005年度～2006年度副会長を郵送による投票で選出した。

10. 支部報告

本年度支部活動は、北海道・東北支部、関東・甲信越支部、東海・北陸支部、関西支部、中国・四国支部、九州支部の8支部で、主に学術集会、ACLS講習会等の研修会、市民公開講座等を行った。支部定款が承認され、事業運営、会計方法、報告形式等を全国で統一した。

以 上